

姉妹都市ワイアンドット市 との交流概要



令和6年5月

小牧市

1. 姉妹都市提携の経緯

デトロイトにあるジェービス・B・ウェブインターナショナル社は、小牧市に進出した大福機工(株) (本社 大阪) と技術提携していたことを由縁として、ジェービス社副社長のウィリアム・C・モリソン氏 (当時) の仲介により、1963年 (昭和38年) 3月4日、ワイアンドット市議会において、小牧市との姉妹都市提携が決議されました。

これを受けて、小牧市議会は同年3月22日にこれを受諾する決議をし、両市の姉妹都市提携が成立しました。

2. ワイアンドット市の概要

(1) 位置

アメリカ合衆国ミシガン州ウェイン郡の都市で、自動車の町として有名なデトロイト市の南西10マイル (約16キロメートル) の地点にあり、デトロイトからは自動車約30分程度のところに位置する。市の東側に沿ってデトロイト川が流れ、これを境にして対岸はカナダである。

(2) 面積

約13,750k㎡

(小牧市の約4.5分の1)

(3) 人口

約2万7千人 (小牧市の約5分の1)

(4) 歴史

元来、ワイアンドットと呼ばれるインディアンが住んでいたといわれています。

1814年に初めてイギリス、フランス、ドイツ、イタリアなどの移民が入植し、1854年に行政単位としての村が成立しました。そして1867年に市制が施行され、ウェイン郡の中ではデトロイト市に次ぐ古い町とされています。

(5) 公共施設

小学校6校、中学校1校 (ウィルソンミドルスクール)

高校1校 (ルーズベルトハイスクール)

その他、ヘンリーフォードワイアンドット病院

ベーコン記念公共図書館、歴史博物館など



市内メインストリート



ワイアンドット市歴史館

3. 小牧市とワイアンドット市の交流経緯

年	月	来訪(ワイアンドット市→小牧市)関連	訪問(小牧市→ワイアンドット市)関連
‘63年 (S38)	3月	3/4 姉妹都市提携議決	3/22 姉妹都市提携議決
	7月		味岡中学校生徒作品(図画等)を送付
‘64年 (S39)	10月	東京オリンピック参観途中、ワ市民として初めて、市長特使ロバート・スチュアート氏(全国保険協会社員)が米国旗を持参し来訪。同氏へワ市へ贈る日本国旗を渡す。	
	11月		日米姉妹都市10周年記念親善使節法政大学経済学部川口昭君へワ市訪問の折市長メッセージを託す。
‘65年 (S40)	7月	ワ市長より市制10周年記念メッセージ受領。	
	11月		世界4Hクラブに日本代表として渡米中の長谷川ふみ子氏(小針巳新田)が市長特使として、小牧市民では初めてワ市を訪問し、大歓迎を受ける。
‘66年 (S41)	3月	ワ市長から米国の都市連盟による姉妹都市認定書が送付される。ワ市市旗が贈られる。	
	8月		小牧市旗をワ市へ贈る。
‘67年 (S42)	2月		神戸市長再選の通知と小牧市の航空写真を贈る。
	7月	ワ市長より神戸市長逝去に対する悔み状が届く。	
	9月	舟橋市長当選を祝いワ市長から来信。	
‘68年 (S43)	4月		南山大学舟橋悟氏(桜井)が欧州留学中、小牧市長メッセージを持参し、ワ市訪問。5月16日の送別パーティでワ市の鍵を贈られる。
	7月	友情の鍵が贈られる	小牧市紹介の写真65枚(中日写協小牧支部協力)を発送。
‘70年 (S45)	3月	ワ市消防長フレッド・ペーカー夫妻と令嬢2名来訪。	
	7月		舟橋悟氏スミス議員の招待によりワ市再訪。
	8月	ワ市長ウィリアム・サバソン市長夫妻が小牧市を公式訪問(万博見学の折)。	
‘71年 (S46)	12月	バーナード・スミス市議会議員来訪。	
‘72年 (S47)	2月	バーナード・スミス市議よりトテムポールが贈られる。	
‘73年 (S48)	8月		佐橋助役、穂積市議会議員、山本議員、前田水道部長が公式にワ市を訪問。
	11月	バーナード・スミス氏一家来訪。	
‘74年 (S49)	6月		市勢要覧、統計年鑑等寄贈。
	8月	サバソン市長から小牧市制20周年を祝うメッセージと市勢要覧が贈られる。	
	12月		市内小中学校児童生徒作品(絵画70点、版画34点)を贈る。

年	月	来訪(ワイントット市→小牧市)関連	訪問(小牧市→ワイントット市)関連
‘75年 (S50)	4月	生徒作品(絵画、版画等)94点が贈られる。	
	7月	ワ市都市計画審議会委員長ブレイジャー・K・ビッチャー氏来訪。	市制施行20周年記念式典関係写真、市勢要覧、市内小中学生作文(36通)贈る。
‘76年 (S51)	4月	合衆国建国200年に当たり「子どもの日」にちなむメッセージ届く。	
	6月		建国200年を祝うメッセージ贈る。
	8月	小牧市青年会議所(国際関係委員会)一行6人がアメリカ合衆国建国200年小牧市青年会議所5周年を記念し、ワ市を親善訪問。	
’79年 (S54)	8月		国際児童年にちなみ、小牧市と青年会議所から小中学生を含む18人の使節団がワ市訪問。
‘82年 (S57)	4月	ワイントット青年会議所一行4人来訪。どろんこ広場におけるワイントット広場の開場式に参列する。	
‘83年 (S58)	8月		姉妹都市提携20周年を記念して橋本助役、長森市議会議長、中学生8人を含む総勢23人がワ市を訪問。
	10月	ワ市議会議員クラック夫妻はじめ一行15人来訪。	
‘85年 (S60)	7月	ワ市議会議員クラック夫妻はじめ一行24人来訪。	
	8月		小牧市制30周年を記念して佐橋市長、西尾議長、中学生14人を含む総勢25人がワ市を訪問。 ワ市J.C.と小牧J.C.の姉妹提携成立。
‘86年 (S61)	10月	小牧市立図書館とバーコン記念公共図書館が姉妹館交流を開始。	
’87年 (S62)	8月		吉田助役ら一行5人がワ市訪問。
‘88年 (S63)	7月	ワ市収入役スイーキー夫妻をはじめ一行50人の使節団が来訪。	小牧・ワイントット友好市民の会発足。
	8月		姉妹都市提携25周年を記念し、佐橋市長、小川議長はじめ、市議会議員5人、中学生16人を含む総勢49人がワ市を訪問。
’90年 (H2)	11月		岩瀬総務部長ら一行3人がアーバンフェア’91出展依頼のためワ市訪問。
‘91年 (H3)	4月		アーバンフェア’91国際交流コーナーにワ市出展。
	9月		小牧・ワイントット友好市民の会会員16人がワ市を訪問。舟津太鼓を披露。
‘92年 (H4)	5月	小牧・ワイントット友好市民の会の招きでジョージ・グース氏ら2人が来訪。	
‘93年 (H5)	7月	ワ市民部長レスリー・ルボ氏をはじめ一行41人が来訪。	

年	月	来訪(ワイントット市→小牧市)関連	訪問(小牧市→ワイントット市)関連
‘93年 (H5)	8月		姉妹都市提携30周年を記念し、岩瀬助役、石田市議会議員を正副団長とする総勢43人(うち中学生18人)の使節団がワ市を訪問。
‘95年 (H7)	5月	小牧市制40周年記念式典の折、ワ市議員ローレンス・ステイック氏、収入役アント・リュエ・スウィーキー氏等出席。	
‘97年 (H9)	5月		小牧・ワイントット友好市民の会会員9人がワ市訪問。30本のさくらを植樹。
‘98年 (H10)	4月		中学生海外派遣事業でワ市訪問開始。中学生10人と引率者3人の総勢13名がワ市でホームステイ、ウィルソン中学校を訪問。
	7月	ワ市議会議員パトリック・サウカ氏はじめ21人が来訪。	
	8月		姉妹都市提携35周年を記念し、中野市長を団長とする総勢45人(うち中学生18人)がワ市を訪問。
‘99年 (H11)	4月		中学生派遣
‘00年 (H12)	4月		中学生派遣
		ワ市学生来訪	
‘01年 (H13)	4月		中学生派遣
		ワ市学生来訪	
‘02年 (H14)	4月		中学生派遣
		ワ市学生来訪	
‘03年 (H15)	8月	姉妹都市提携40周年を記念し交流事業を計画していたが、イラク戦争の影響により中止。	
‘04年 (H16)	4月		中学生派遣
‘05年 (H17)	4月		中学生派遣
	5月	小牧市制50周年及び愛知万博を記念し、ワ市長ジェームス・テイセ、市議会議員タッド・ブラウニング、市会議員ジョニー・カラウスキー、市民部長レスリー・ホブ はじめ総勢21人が来訪。	
	8月		小牧市制50周年を記念し、服部収入役、水谷議長はじめ市民ら総勢21人がワ市を訪問。
‘06年 (H18)	4月		中学生派遣
	6月	ワ市学生来訪	
‘07年 (H19)	4月		中学生派遣
‘08年 (H20)	4月	※姉妹都市提携45周年(記念事業実施せず)	中学生派遣
	6月	ワ市学生来訪	
‘09年 (H21)	4月		中学生派遣
‘10年 (H22)	4月		中学生派遣
	7月	ワ市学生来訪	

年	月	来訪(ワイアンドット市→小牧市)関連	訪問(小牧市→ワイアンドット市)関連
‘10年 (H22)	8月		小牧市制55周年を記念し、村上副市長、山下副議長はじめ市民ら総勢19人がワリ市を訪問。
‘11年 (H23)	4月		中学生派遣
‘12年 (H24)	6月	ワリ市学生来訪	
‘13年 (H25)	5月		中学生派遣
	8月		姉妹都市提携50周年を記念し、山下市長を団長とする総勢18人(うち市民14人)がワリ市を訪問。
‘14年 (H26)	6月	来訪中止	
‘15年 (H27)	4月		中学生派遣
‘16年 (H28)	6月	来訪中止	
‘17年 (H29)	4月		中学生派遣中止
‘18年 (H30)	5月		中学生派遣
	8月		姉妹都市提携55周年を記念し、伊木副市長を団長とする5人がワリ市を訪問。
‘19年 (R1)	7月	ワリ市学生来訪	
‘20年 (R2)	4月		新型コロナウイルス感染症のため、中学生派遣中止。
‘21年 (R3)	6月	ワリ市ウィルン中学校と小牧西中学校の生徒が、ビデオチャットによって互いの文化や学校生活について質問回答を行い、交流を図る。	
‘23年 (R5)	6月	ワリ市学生来訪	
	7月		姉妹都市提携60周年を記念し、平岡副市長を団長とする8人がワリ市を訪問。
‘24年 (R6)	5月		中学生派遣

4. 民間交流 ～『小牧・ワイアンドット友好市民の会』について～

ワイアンドット青年会議所と交流を行っていた小牧青年会議所会員が市民に参加を広く呼びかけ、1988年(平成元年)8月に設立されました。

以来、小牧市とワイアンドット市の交流には欠かせない存在として、人的交流、文化的交流に貢献されており、1995年(平成7年)にはワイアンドット市から表彰を受け、設立20周年を迎えた2008年(平成20年)には、財団法人愛知県国際交流協会より、国際交流推進功労者表彰を受賞しています。

5. ワイアンドットの歴史をもう少し詳しく・・・

(ワイアンドット市HPからの抜粋)

1732年 ヒューロン族（北米インディアン）の1種族であるワイアンドット族（the Wyandots）が現在のワイアンドット市のある地域にマクウアクウア村（Maquaqua）をつくった。



ワイアンドットに到着したボート



マクウアクウア村

先住民族以外の最初の定住者

メイジャー・ジョン・ビドル氏（Major John Biddle）

1812年戦争（米英戦争）のアメリカ軍将校で、デトロイト市長（第4代）でもあった。彼は現在のビドルアベニュー（Biddle Avenue）とバインウッドアベニュー（Vinewood Avenue）のあたりに定住し、自分の農地を南側に住んでいる人達の名をとって”The Wyandotte”と名付けた。そして、この地域へやって来たほかの移民者たちも、この地域のことをワイアンドットと呼ぶようになった。ワイアンドット市という名前はビドル氏の農場の名に由来する。

1854年 12月 12日 ワイアンドット村が成立。

同時にワイアンドットの第一産業であるユリーカ製鉄会社が創建される（ビドル氏の土地を買い取りこの会社を建設）。

1865年 5月 26日



ユリーカ鉄鋼所

ユリーカ製鉄会社はアメリカ合衆国で初めてベッセマー製鋼法（溶融銑鉄中に空気を圧送して炭素や不純物を酸化させる製鋼法）で鋼鉄を作り出した。この方法は産業革命の礎となり、良質の鉄鋼を大量に生産する重要な基礎となった。残念なことに、この会社は1888年にボイラーの爆発火災が起き、その後再建されることはなかった。



19世紀末～20世紀初頭



1940年代

1867年4月8日 村からワイアンドット市へ。

1871年 ワイアンドット造船所が創業。

この造船所は、ボブ・ロ・ボートの一つで、Tashmoo(タッシュムー号)やColumbia(コロンビア号)といった有名な高速客船など、多くの船体を造り、1922年まで操業された。



コロンビア号

1890年代初め J. B. フォード氏が、このあたりの塩の蓄積物(天然ソーダ)の調査。

*塩(天然ソーダ):板ガラスを製造する過程で化学的に必要なソーダ灰(無水炭酸ナトリウム)を作り出すためのもの。アメリカで多量に算出される。

フォード氏は、ミシガン・アルカリ社を創設(化学物質処理)。J. B. フォード会社も設立(ソーダ灰をもとに石鹼や洗剤を製造販売)。このような化学製造工場は、ワイアンドット市で今日まで続いている耐久力のある工業となった。

1969年 化学工業会社の大手であるBASF社がミシガン・アルカリ社とJ. B. フォード社を買収し(1930年代には合併している)、株式を公開した。BASFは今もワイアンドットで操業を続けている。

デトロイトの周辺では、南郊外で町が増え、ワイアンドットが川沿いの地であることや他の魅力に引かれ、世界中から人々が集まってきた。ワイアンドット市は、仕事や居住地を求め移民者が押し寄せてくる地域の模範となった。ワイアンドット市の文化はドイツ、アイルランド、イタリア、ポーランドの移民の影響を受けている。